

生田緑地周辺で採集された市内未記録のトンボについて

河野浩道^{*1}

Two unrecorded dragonflies from Kawasaki City

Hiromichi KAWANO^{*1}

川崎市域において未記録のトンボ類二種を採集したのでここに報告する。

・ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys

1ex ♂ (採集) 4.VIII.1995

1ex (目撃) 5.VIII.1995

生田緑地公園に隣接する休耕田の用水路に添って飛翔中の本種一頭を採集。一頭を目撃。

本種の県内の分布域はほぼ相模川より西に限られており、県東部からは初めての記録となる。

採集された個体は新鮮なものであり、同地周辺で発生したものと考えられるが、多摩丘陵を含めて生息地がないこと。以前から調査されてきたにもかかわらず全く採集例がないことなどから人為的移動もしくは台風等で飛来した個体による一時的な偶産種の可能性が強いと思われる。

・オナガサナエ *Onychogomphus viridicostus*(Oguma)

1ex ♀ (採集) 22.VII.1995

生田緑地公園に隣接する民家の壁に静止中の本種のごく新鮮な個体を採集。

本種の県内の分布域もほぼ相模川より西に限られており、県東部からは初めての記録となる。

伊藤(1998)には成虫は羽化直後に付近の丘陵地まで飛翔するとある。採集地周辺に同種の発生に適する環境が無いことと、本種の飛翔能力と多摩川水系の川崎市近辺の発生地を考えると、現段階では1997年に発生が確認されている稲城市からの飛来個体である可能性が強いと思われる。

末尾ではあるがご指導と同意を頂いた神奈川県立博物館の荻部治紀学芸員とご協力頂いた「かわさき自然調査団」の岩田芳美氏に感謝の意を表する。

文 献

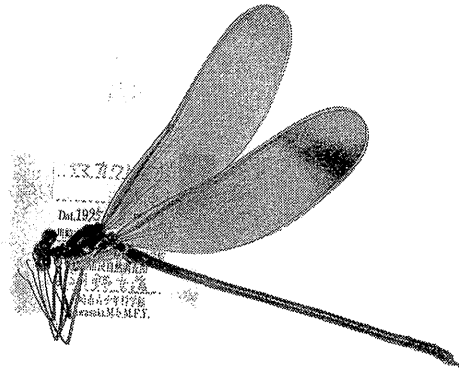
・石田昇三・石田勝義・小島圭三・杉浦光俊(1988) 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説(東海大学出版会)。

・佐々木彰・平子順一・岸一弘・荻部治紀(1989) 神奈川のトンボ相I. 神奈川虫報(90): 67 - 86 . (神奈川昆虫談話会)。

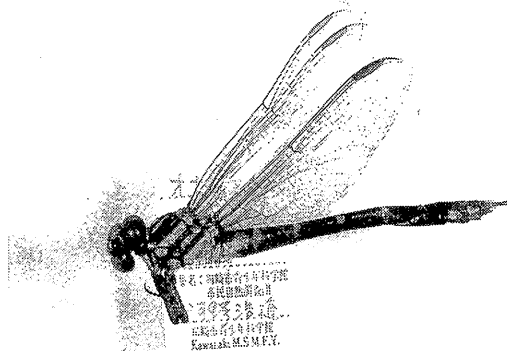
*1 かわさき自然調査団

・佐々木彰・平子順一・岸一弘・荻部治紀(1990) 神奈川のトンボ相II. 神奈川虫報(92): 3 - 40 (神奈川昆虫談話会)。

・伊藤淳(1998) 多摩川水系のトンボ. 南多摩の自然誌 pp, 25 - 50. (南多摩高等学校)。



ミヤマカワトンボ



オナガサナエ